

## 福岡局間連の今

福岡局間連は、消費税導入後、平成5年5月に1署1間税会(31間税会)体制を達成してから、今日まで間税会発展のために諸施策を企画、立案、実施して、会務運営の充実強化に努めてきたところであるが、間税会の存在感を高めるため、また、事業活動の活性化のために、会員数1万人社超を目標に組織の拡充強化に取り組んできたところである。しかし、昨今の経済情勢、新型コロナウイルスの感染禍の影響もあり、局間連が定めた会員増強の数値目標には程遠い状況にある。

### 1 組織状況

#### (1) 会員数

当局間連の最大会員数は平成12年3月末の13,572人社で、その後減少が続く直近5年間はそれが顕著になっている。そこで会員増強のため、数値目標の設定及びその方法・手段の共有、並びに組織増強功労表彰の充実を図ることとしている。

会員数の推移

(単位・人社)

区 分	30・3	元・3	2・3	3・3	4・3
会員数	9,068	8,849	9,000	8,608	8,468
前年度対比	△109	△219	151	△392	△140

#### (2) 青年部・女性部の結成状況

青年部・女性部は、間税会の会務運営に当たって重要な組織と認識しており、研修会やチャリティ等、その活発な活動の成果は、本会の会務運営に大きく影響している。

#### 青年部と・女性部の結成状況

(結成22間税会・787人—令和4年4月1日現在)

間税会数	結成区分	青年部員	女性部員
5	青年部	129	
	女性部		188
6	青年女性部	172	54
11	青年部	232	12
22	計	533	254

#### (3) 事務局の設置状況

間税会活動の活性化・効率化のためには、①役員の間税会に対する理解と同時に、②事務局の充実(独立の事務局、専任の職員等)が大きく影響する。当局間連では、独立の事務局、専任の職員を持っている単位間税会は皆無なので、会務のための事務処理に円滑さを欠くきらいがあった。そこで、平成7年に「事務局のための間税会事務のしおり」を作成、単位間税会に配付した。そして毎年追録を配付し加除整理を行っている。

事務局の設置状況

設置場所	単会数	設置場所	単会数
法人会事務所	13	小売酒販組合	1
税理士事務所	4	間税会・会長	3
商工会議所	4	副会長等役員	4
家具工業組合	1		
中小企業団体	1	計	31

2 活動状況

(1) 会議等開催状況

会議の効率化・省力化を図りながら、次のように会議を開催し、福岡局間連及び単位間税会に共通する会務について、意見交換・協議を行っている。

会議の種類と開催状況

会議名	開催月	摘要
正副会長・委員会委員合同会議	2月上旬 5月上旬 8月上旬	注1.2
常任理事会 (理事会)	2月上旬 5月上旬 8月上旬	注2
総会	6月上旬	
事務長会議	8月下旬	
ブロック間税会連絡協議会 (6ブロック)	9月中旬～ 10月下旬	(2)を参照

(注1) 委員会組織は、総務・会務運営・税制・広報の4委員会である。

(注2) 2月・8月の会議は、全間連の常任理事会を踏まえて、開催している。

(2) ブロック間税会連絡協議会の概要

① 設置理由

当局間連は、県連組織を設けず、これに代わる具体的・効果的な組織として、平成5年にブロック間税会連絡協議会を設置して、毎年開催している。税務当局の出席を得、議題に応じた支援・指導を受けている。

ブロック 編成	福岡県				佐賀県	長崎県	計
	福岡	北九州	筑豊	筑後	佐賀	長崎	
間税会	7	5	3	5	5	6	31
参加者	各間税会とも、会長・副会長・事務局のほか役員を含め3～5名						

② 会議のポイント

- イ 間税会の抱えている問題点・あい路・改善すべき事項等を情報交換し検討協議している。
- ロ 間税会相互の連絡協調や、各間税会の運営に資することとしている。

(3) 間税会ニュースの発行

20年前から、それまでの会報の発行に代えて、間税会ニュースを年3回発行している。間税会ニュースは①局連・単位間税会・会員をつなぐパイプ役としてばかりでなく、②消費税をはじめとする間接諸税についての最新情報誌としての役割を持たせつつ、③会員相互の意思の疎通を図る場となるよう努めているところである。

(4) ホームページの充実

平成24年9月、今後のインターネットの重要性に鑑み、当局間連のホームページを開設。団体紹介、活動報告、新着情報、間税会ニュースの案内、関連サイト等、多項目の内容となっている。特に最新の情報を簡単な操作で提供することに配慮し、トップページにバナーを設けている。なお、単位間税会も順次開設を進めている。

(5) 「世界の消費税」クリアファイルの配付

「世界の消費税」クリアファイルは、街頭広報、税の標語参加中学校等への配付、税務関係団体、及び間税会役員会社等のPR促進材として活用されており、間税会の活動の中でも大きなファクターとなっているので今後とも配付部数の拡大を図りたいと考えている。

区 分	2年度	3年度	4年度
配付部数	64,200	61,000	62,800
前年比	△19,050	△3,200	+1,800

(6) 「税の標語」募集

税の標語の応募数は毎年増加しているものの、応募があるのは12単位間税会程度であり、かつ一般応募、会員応募が少ないなど、今後とも力を入れていく必要がある。

区 分	元年度	2年度	3年度
応募数	8,532点	3,517点	8,203点
応募単会数	12	12	10
前年比	+501	△5,015	+4,686

(7) 消費税アンケート調査

消費税アンケート調査は、税制改正等の提言活動の基礎となるものであり、非常に重要な取り組みであるが今一步の感があり、回収率の向上に努めたいと考えている。(配付部数約1,500部)

区 分	2年4月	3年4月	4年4月
回収率	59,7%	68,9%	71,3%

(8) 「税を考える週間」行事の充実

各単位間税会は他の税務関係団体との協調と創意工夫を図りながら、研修会、講演会、税のコンサート、チャリティ行事等積極的な広報活動に取り組んでいる。

3 福岡局間連事務局移転のお知らせ

6月9日に開催された福岡局間連第49回通常総会におきまして、市丸 徹専務理事が退任し、上田正浩専務理事が新たに就任いたしました。

ただし、9月9日(金)に開催される全間連第49回通常総会長崎大会までは事務の都合上、事務局は現在地のままとし、新事務局への全面移管は9月12日(月)を予定しております。

[ 新事務局 ]

・専務理事 上田 正浩 (税理士)

・新事務局 (9月12日以降)

〒819-0046

福岡市西区西の丘2-16-11

上田正浩税理士事務所内

TEL (092) 885-8326

FAX (092) 400-2831